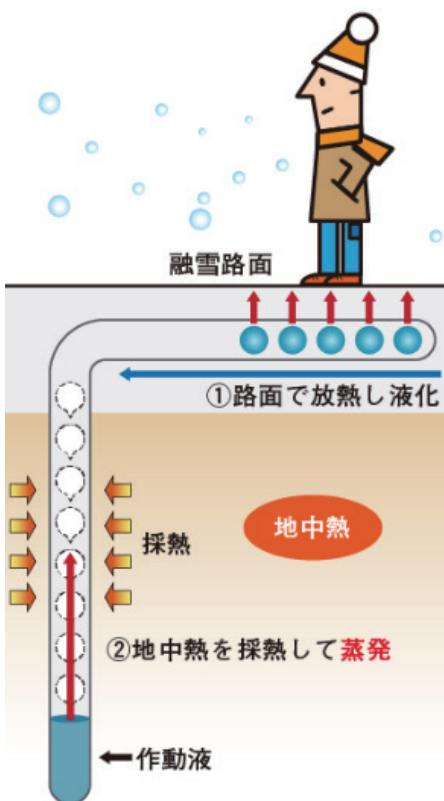


事業計画名 ランニングコスト不要地中熱ヒートパイプ融雪
新領域進出による最新鋭ボーリング機の調達



IOT最新鋭ボーリング機

ヒートパイプ融雪図



融雪前



融雪後

地中熱でランニングコストゼロへ

温暖化対策が急がれる現在、地中熱という環境負荷の低いクリーンエネルギーを利用した冷暖房や融雪システムの設計・施工で、北海道をはじめとした寒冷地のエネルギー問題解決に取り組む(株)アリガプランニング。これまで、地中熱ヒートポンプの設置で実績を作ってきたが、今後、最も力を入れたいと考えているのが、ランニングコストゼロ、CO2ゼロで無動力型の地中熱ヒートパイプ融雪設備だ。

本事業では、公共設備への敷設、特に狭い歩道などに対応するために開発されたコンパクトかつ最新鋭のボーリング機を導入。同時にIoTシステムを装備して、オペレーターの働と経験頼みだった掘削管理を見える化、後方支援やデータ蓄積までも可能にした。

地中熱で環境と生活を守る

環境とコストにやさしい融雪装置

ヒートパイプの熱源となる地中熱とは、浅い地層部分にある熱で、年間を通じほぼ一定の温度に保たれている。採熱設備も比較的簡易で、他の再生可能エネルギーと比べてコスト性にも優れており、また、場所を選ばず、季節や天候にも左右されずに安定利用が可能ということで、今後の普及拡大が期待されるエネルギーだ。

ヒートパイプ融雪システムは、すでに同じ雪国の青森、秋田など東北の歩道で融雪設備として導入が進んでおり、同社では北海道でも啓蒙活動を進めながら、早期の普及を促したいと考えている。

究極のエコ型建築「ZEB」を推進

日本でも一定面積以上の新築非住宅建築物は省エネルギー基準の適合義務化が始まり、そのさらに上をいく「ZEB」(ゼロ・エネルギー・ビル:年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指したビル)が注目されている。

国連が定めた「持続可能な開発目標」達成にもつながり企業を取り入れれば、低炭素社会実現への責任を果たすことにもつながる。ARIGAグループでは有我工業所がZEBプランナーの登録をしており、設計の初期段階から協力する体制を取って、現在、様々な施設から引き合いも来ている。

5年、10年先には当たり前となる環境技術を普及するため積極的に推進している。



ありが みつひと
代表取締役 有我 充人

ヨーロッパでは地中熱利用は一般的で、化石燃料を減らす活動が進んでいます。日本は地中熱の普及においては発展途上ですが、気候条件の厳しい北海道こそ地中熱をうまく利用すれば、環境に優しいだけでなく、ランニングコストも削減できます。また、「ZEB」は災害にも強く、環境に優しいこれからの環境技術と言えます。

TOPIX BELS (建築物省エネルギー性能 表示制度) で星5つ獲得の新社屋

2018年3月、札幌に完成したアリガプランニングの新社屋は、北海道では先駆けとなる「ZEB」(ZEB100%達成)を実現。国土交通省の省エネ性能表示制度「BELS」にて最高ランクである星5つを獲得した。現在、各方面からの視察を積極的に受け入れている。

COMPANY DATA

株式会社アリガプランニング

TEL.011-520-3160 FAX.011-533-3178

<http://ariga-group.com>

住 所 北海道札幌市中央区南10条西12丁目2番23号
 代表者名 有我 充人
 資 本 金 2,000万円
 設 立 平成13年12月
 事業内容 地中熱システム、融雪・冷暖房システム、
 さく井工事全般、地中熱工事/温泉・井戸等ボーリング